



平成28年4月21日
第五管区海上保安本部

『姫路港西部』の海図が新しくなりました

海上保安庁では、船舶が安全に航海するために必要な情報である水深、水中障害物、灯台等の航路標識、港湾施設等を記載した「海図」を発行しています。この度、姫路港西部の海図が3年ぶりに新しくなりました。

姫路港は兵庫県唯一の国際拠点港湾であり、化学、鉄鋼、電力等の重工業施設が多く存在し、兵庫県のみならず関西の物流・貿易の重要拠点となっている港です。

新しい海図は、主に広畑航路の水深変化について第五管区海上保安本部所属の測量船「うずしお」が平成27年に調査した水深情報やその他の測量成果、最新の港湾情報等を取り入れ、4月15日に日本語版（W134B）と英語版（JP134B）の海図をそれぞれ発行しました。

なお、これにより、リニューアル前の平成25年3月に刊行した海図は航海用として利用できなくなりますので、航海安全のため最新情報を取り入れた新しい海図をご使用ください。

◆概要

海図番号	図名	縮尺	図積	発行日	価格(税込)
W134B	姫路港西部	1/10,000	全紙	4月15日	3,456円
JP134B	WESTERN PART OF HIMEJI KO	1/10,000	全紙	4月15日	3,456円

※図積 全紙 とは、用紙の寸法が1085mm×765mmのもの。


◆海図の購入方法

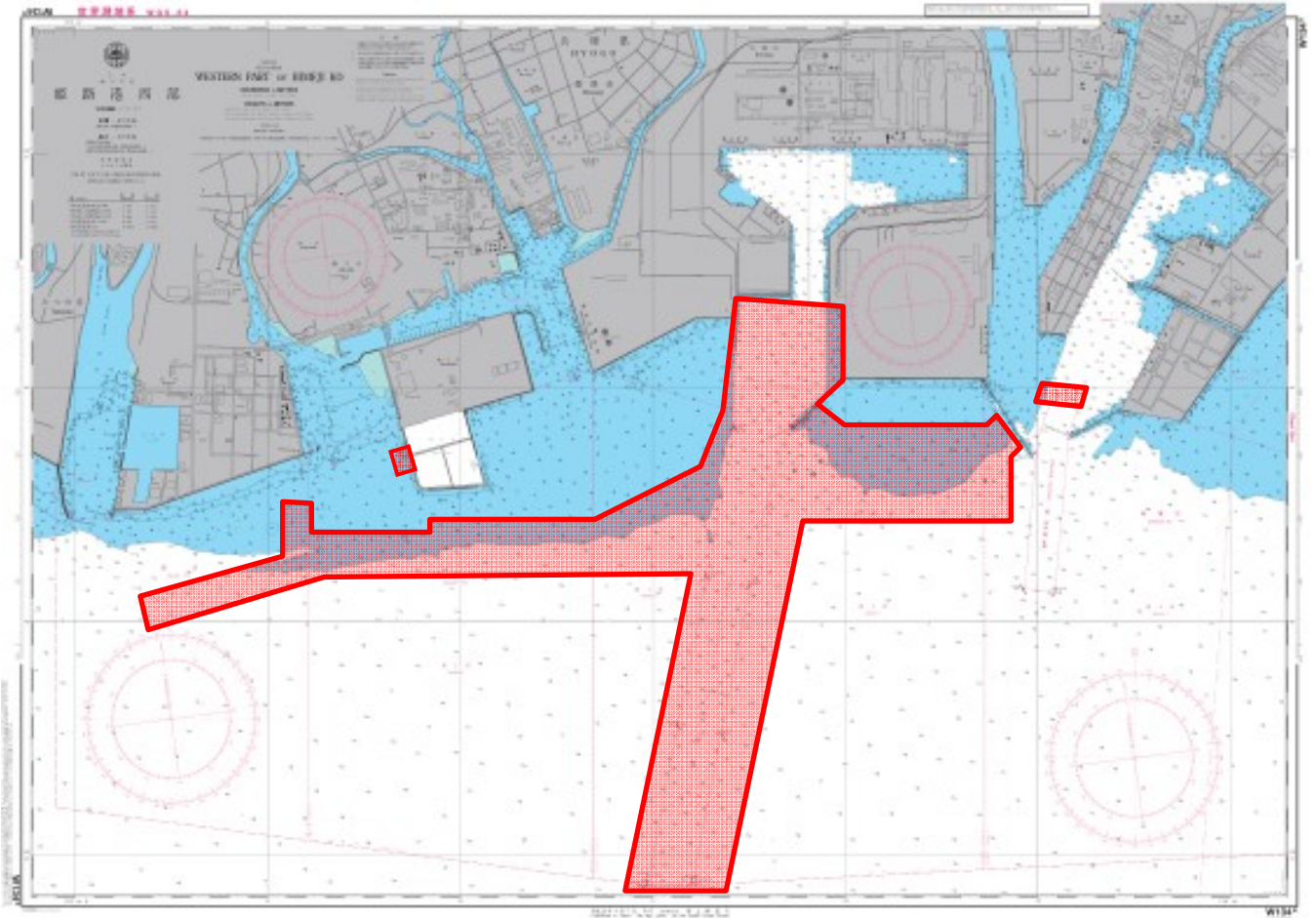
水路図誌販売所などで購入できます。詳細については、第五管区海上保安本部「海の相談室」（電話：078-391-1299）までお問合せいただくか、以下のWebサイトをご覧ください。

一般財団法人 日本水路協会ホームページ

URL：<http://www.jha.or.jp/jp/jha/purchase/>

◆主な変更箇所

 最新の水深情報、測量成果の反映箇所



海図概略範囲



測量船「うずしお」

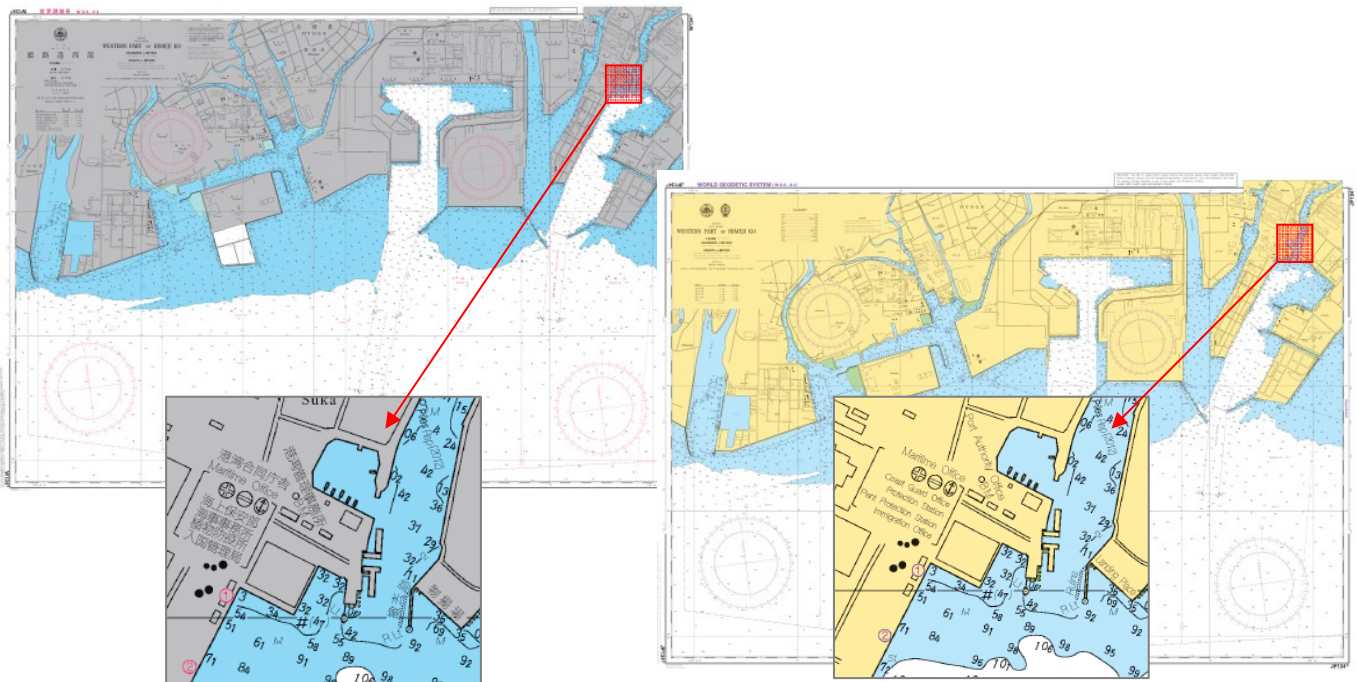


◆日本語版海図と英語版海図の主な相違点

①英語版海図は、「英国海洋情報部との共同刊行」であり、英国海洋情報部の印章を併記



②縮尺・包含区域などは従来の海図と同じで、記載事項は全て英語表記



③日本国内のほか英国海洋情報部の持つ海外約50ヶ国、約180箇所の販売網を通じて入手することができ、我が国が発行する安全性の高い海図が世界各国で入手可能